

# 寺町界隈

わたしたちの町のわたしたちの情報誌。

8月号

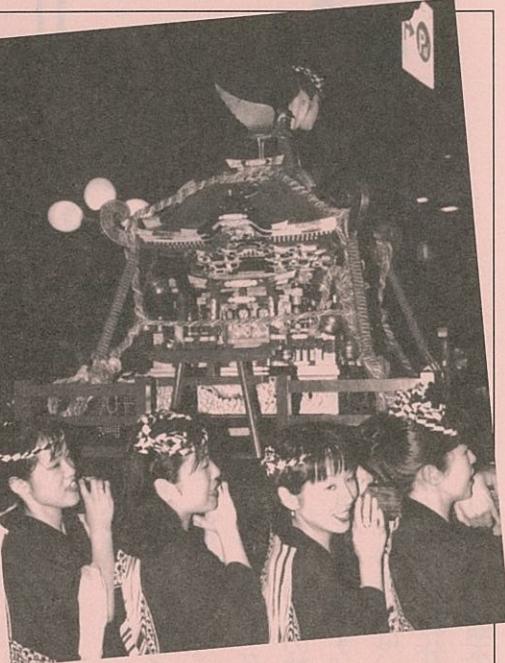
■発行/寺町のまちづくりを考える会事務局TEL21-3461  
■JULY.1996 ■Volume18

7月24日(水)神輿連合渡御コース

県庁前  
7:00大橋  
7:30天神町  
8:00天満宮  
9:00祭のない町には住みた  
いとは思わないよな。  
(N・M)ハンパにやつてないか  
よ、格闘技だ。ケンカでも  
ハ、男どうだよ。  
(M・O)

天神さん夏祭り

「過激な神輿がうねり汗が飛ぶ!」



## 京店カラコロ ビアガーデン 開催中!!

◎京店カラコロ広場にて9/29まで  
ビアガーデンを開催しております。  
営業時間 18:30~21:30オーダーストップ  
毎週月曜日定休日

7/26(金)、8/3(土).....松江地区消防音楽隊演奏  
8/3(土).....藤間叶三枝社中(日本舞踊)  
天神太鼓  
手筒花火(20:30~21:00)  
マッシュ演奏  
アクロバットショー  
丸山裕一郎ライブ  
花市  
8/11(日)、12(月).....24時間テレビ  
8/24(土)、25(日).....『愛は地球を救う』中継

## 京店カラコロ サマーフェスタ

◎左記日時にて、京店カラコロ広場でイベント  
を行いますのでぜひご参加下さい。

寺町のまちづくりを考える会事務局長 錦織伸行

このところの経緯

6月の松江市議会に、「公営場外舟券売場を

含むまちづくり案」への賛成、反対両陳情が、

それぞれ二件ずつ提出されました。しかし、

この問題は、多様な側面からの検討と慎重な

論は出さず、継続審議との取扱いになりました。

市長始め、関係者も、今後の成り行きに注

目しています。

松江市としては、このまちづくり案が、住

民から積み上げられ、しかも熟度の高いもの

であると評価しています。しかし、反面、「公

営場外舟券売場」そのものの可否については、

寺町地区(五自治会)の意向が特に尊重され

るべきしながらも、あくまで民間の問題と

して、自らの積極的判断は差し控えています。

## 事務局長からの手紙

寺町のまちづくりを考える会事務局長 錦織伸行

▼我々の会を始めて三年余。当初は、朝日町十字路界隈の「十年後の具体的将来像」を探ろうと、周辺の若手商業者らと勉強会を開始した。途中、県道拡幅問題では、官民の仲介的立場となつたり、その後のまちづくりの研究をしたりで、いつの間にか、こんなところへ来てしまつたという感も強い。▼以下、雑感――。▼「福祉と營利」――「公と私」とも言い換えられる。一見、相反する概念だが、高齢化率30%を越える寺町では表裏の関係となる。例えば、思い出したように時折なされる福祉

給食と、歩ける範囲の計り売りのお惣菜屋さん、出前をしてくるうどん屋さんと、どちらが独居高齢者にとって便利で頼りになるであろうか。深夜、若者の溜まり場となるコンビニエンス・ストアは、成人雑誌やビデオも、一部販売しながら、公共サービスの窓口を一

▼我々の会を始めて三年余。当初は、朝日町十字路界隈の「十年後の具体的将来像」を探ろうと、周辺の若手商業者らと勉強会を開始した。途中、県道拡幅問題では、官民の仲介的立場となつたり、その後のまちづくりの研究をしたりで、いつの間にか、こんなところへ来てしまつたという感も強い。▼以下、雑感――。▼「福祉と營利」――「公と私」とも言い換えられる。一見、相反する概念だが、高齢化率30%を越える寺町では表裏の関係となる。例えば、思い出したように時折なされる福祉

給食と、歩ける範囲の計り売りのお惣菜屋さん、出前をしてくるうどん屋さんと、どちらが独居高齢者にとって便利で頼りになるであろうか。深夜、若者の溜まり場となるコンビニエンス・ストアは、成人雑誌やビデオも、一部販売しながら、公共サービスの窓口を一

方では担つているのである。▼元々、商圈の長大なショッピングセンターが、松江の中心部から消滅して、商圈の小さなスーパー、小売店が残っているのは、何故であろうか。車社会の高度化の中、前者は減んだが、配送の業務等によるゲリラ的商圈拡大に成功した店は、後者でも生き残っている。しかし、高齢者は語れない。▼我々のまちづくりは、核施設に対する公的資金の導入が出来ないという条件のもと、①旧耐震構造の松江やよいの建替え、②食品スーパーの再開、③県道拡幅への協力とその後の街作りという3点の絶対条件が宿命付けられている。これら全てのことは、当然ながら汎く白潟地区全体の問題である。しかし、反面、白潟地区西部の住宅地区より、万代町に隣接する朝日地区東部の商業地区の方が関連や影響は、当然ながら大きい。

## 寺町便り

昔のこととうとき、高校時代が一番懐かしい。大学生の頃も

と（個人的敬意は別として）意見

争うことが生じてしまった。妙に反発し、鋭角的な感性と歪な言

動にまとわれたハイテイーンの記憶の刻も鮮やかで深い。

さて、今回の「まちづくり」を巡

つては、大恩ある高校時代の恩師

と（個人的敬意は別として）意見

錦織伸行

昔のことを想うとき、高校時代が一番懐かしい。大学生の頃も

と（個人的敬意は別として）意見

争うことが生じてしまった。妙に反発し、鋭角的な感性と歪な言

動にまとわれたハイテイーンの記憶の刻も鮮やかで深い。

さて、今回の「まちづくり」を巡

つては、大恩ある高校時代の恩師

と（個人的敬意は別として）意見

争うことが生じてしまった。妙に反発し、鋭角的な感性と歪な言

動にまとわれたハイテイーンの記憶の刻も鮮やかで深い。

さて、今回の「まちづくり」を巡

&lt;p

